

10 - 10 ガンカモ科鳥類の調査地別観察数ベスト5の推移

調査年月 (調査か所数)	9 . 1 (241か所)	10 . 1 (287か所)	11 . 1 (316か所)	12 . 1 (319か所)	13 . 1 (326か所)
順位					
1	淀川全域 8,875	淀川全域 9,887	淀川全域 9,078	淀川全域 8,570	淀川全域 12,532
2	大阪市北港 3,689	大阪市北港 4,784	大阪城公園 3,285	大阪市北港 6,225	神崎川全域 5,277
3	大阪城公園 3,074	大阪城公園 2,764	神崎川全域 2,633	大阪城公園 3,032	平林貯木場 2,298
4	大和川全域 2,564	鶴見緑地 2,585	大和川全域 2,050	鶴見緑地 2,721	大阪城公園 1,885
5	安威川全域 2,527	大和川全域 2,413	泉大津埋立地 1,897	大和川全域 2,538	大和川全域 1,374

(注1) 表中、上段は調査地名、下段は観察羽数

(注2) ガンカモ科鳥類の生息調査は、毎年冬期に日本に渡来するガン、カモ、ハクチョウ類の生息状況を把握するために、環境庁の呼びかけにより昭和44年度から全都道府県が一斉に実施している。

10 - 11 カモ類観察数種別順位
(平成12年度)

順位	種名	観察数(羽)	%
1	ホシハジロ	20,852	50.1
2	ヒドリガモ	5,933	14.2
3	マガモ	2,852	6.8
4	コガモ	2,503	6.0
5	キンクロハジロ	2,209	5.3
6	カルガモ	1,708	4.1
7	ハシビロガモ	1,682	4.0
8	スズガモ	1,299	3.1
9	オシドリ	572	1.4
10	オナガガモ	557	1.3
11	オカヨシガモ	524	1.3

10 - 12 ニホンジカの生息頭数の推移

(単位：頭)

調査年度	昭54	57	60	63	平3	6	9	12
推定生息数(頭)	60	200	365	341	480	660	800~900	1000~1200

(注) 平成3年度の調査は能勢地域のみ。「480」は、昭和54年から昭和63年までの生息数の増加率、有害駆除・狩猟による捕獲数を参考に試算したもの。

平成6年は分布域のみ調査し、生息数推定のための調査を行っていない。「660」は、フィールドサインの出現状況をもとに試算したもの。